

# 神徳賛詞

仰ぎまつれば天高く

拝みまつれば地は厚し

神の恵みに生かさるる

身の幸いぞありがたき

わが生神の御取次

一日も欠くるときはなく

天地の神の御守り

遠き近きの隔てなし

神慈しみは万代に

遍く満ちて果てしなく

神量らいは奇しくて

人の思いぞ及ばざる

われら今月今日

礼びまつりてひたすらに

神のみかげを賛えまつらん

神のひれいを仰ぎまつらん。



## 願いの宮